
施工マニュアル

・アイバリア ・アイバリアTK-8

本施工前に必ず、小面積での事前テストを実施して確認をしてください。

塗布器材

刷毛、ウェス、フラットモップ等、均一に塗布できるもの。専用器具はありません。

塗布器具、拭取り材料は必ず乾燥した、キレイな状態のものを使用してください。

洗浄

塗布前は必ず洗浄をおこない、キレイな状態で塗布します。

イシクリーンシリーズ洗浄剤を使用してください。（カタログを参照願います）

乾燥

対象素材が十分に乾燥していることが、塗布施工するにあたり必須条件となります。

○洗浄後、24 時間以上の乾燥時間をお勧めします。

仕上げ方法

仕上げ状態を選択してください。仕上げ方法により塗布方法が異なります。

- ・ 艶あり仕上げ（光沢あり）×滑る場合があるので注意！確認してください。
- ・ 艶消し仕上げ（光沢なし）

塗布方法

- ・ 艶あり仕上げ（光沢あり）⇒ 塗布膜を残す方法

×研磨（鏡）面ではムラが出ますので、避けてください。

塗 布

原液を刷毛、ウェス、フラットモップ等で均一に塗布して下さい。

目地部分を先に塗布してから、石材タイル面に薄く、やや押し付け気味に縦横に一回ずつ塗布します。

塗膜が均一にならないものや、もっと艶（光沢）が欲しいという場合は重ねて塗布します。

養 生

6時間以上は水がかからないようにして下さい。

24 時間は一般歩行を避けて下さい。

養生時間は気温や天候により変わります。

・ 艶消し仕上げ（濃色・光沢はなし） ⇒ 塗布膜を残さない方法

塗 布 原液を刷毛、ウェス、モップ等で均一に塗布して下さい。
拭取り作業は、すぐに手作業によるものとなりますので手の届く狭い範囲に塗布を行なってください。

拭き取り 塗布後、30 秒前後（※）したら布・紙ウェス等で
ていねいに石材、タイルに樹脂を刷り込むようにして、表面に残った樹脂分の拭き取りをします。
⇒ 気温、石材の状態によって時間は変わります。
※放置時間が長すぎると、硬化が始まり拭き取りにくくなります。
拭き取りが不十分だと、ムラが生じます。

再塗布 追いかけて、前記と同じ方法でもう一度繰り返し塗布作業を行なって下さい。

養 生 6時間以上は水がかからないようにして下さい。
24 時間は一般歩行を避けて下さい。
養生時間は気温や天候によって異なります。

【注意点】

本体から他の器に移して使用する場合、早目に使いきってください。

余った液剤は戻さずに廃棄してください。

【標準塗布量目安・面積/L】

御影石	研磨（鏡）面	30 m ² ～
御影石	凹凸（ジェットバーナー）面	20～30 m ²
磁器タイル	凹凸面	30～50 m ²
玄昌石・スレート	割肌	20～40 m ²

※ 上記の塗布量は目安です。事前に塗布量と仕上り状態を確認して下さい。

※ 目地の幅・面積により上記の目安塗布量より少なくなる場合があります。

仕上がり確認

艶や濃色の色合いは、翌日、乾燥して落ち着いた状態で確認してください。

メンテナンス

汚れが付着しないというものではありません。汚れの付着力が弱く、染みを防ぐものです。
よって、最小限の清掃メンテナンスは必要です

日常

除塵を主にして、自在ホウキや掃除機で吸引します。

必要に応じて、洗剤を使用してモップ拭きや自動洗浄機で洗浄をします。

定期

中性洗剤「イシクリーンスーパーSP」や「メンテクリーナー」を基本として、
ナイロンや白パットでポリッシャー洗浄を実施します。

汚水は必ずバキュームで吸引して、リンスは十分におこなってください。

注意

×強アルカリ洗剤と塩素系洗剤は使用しないでください。

アイバリアTK-8・アイバリアの施工にあたって

注意点

塗布施工するにあたり

1. 下記の場合には、**施工は避けて下さい**。

① 天候 ー特に外部での施工ー

a. 雨天時での施工

施工前／施工中／施工後に過剰な湿気や水がかかると、ムラになり白く固まってしまうので雨天時には施工しないで下さい。乾燥養生の間にも雨があたらないよう、施工後の天候にも気をつけて下さい。

b. 暑い時期／気温25℃以上での施工

寒い時期／気温5℃以下での施工

石材が熱いと乾燥が早すぎ、拭き取りがうまくいきません。

② 石材の状態

a. 濡れている状態／湿気の多い状態

b. 石材下部から水が染み上がっている状態ー斑点状

c. 目地周辺に水やコーキング材の油分シミがある場合

d. ワックスが塗布されている、またはされたことがある石材

特にバーナー等の凹凸仕上げ面では、石材の空隙に浸透したワックスが完全に除去することが難しいため。

⇒いずれの場合も保護剤の均一な浸透が妨げられるため、色ムラが発生します。

2. 均一な色相に仕上げるための確認作業

新築時においても塗料、コーキング、モルタル等が付着していることが、多くありますので、必ず除去してください。

特に目地周辺では、それらが石材側面より染み込んでいることがありますので、水を染みこませ、色合いや乾燥具合などで確認してください。

3. 裏面／側面処理材として使用しないで下さい。

セメントモルタルやコーキング材とは接着しません。

剥離について

専用剥離材「イシノールハクリ」と「ネンドル」による湿布吸着方法で剥離することができます。

⇒再塗布を前提とした剥離をする場合は弊社へ、ご連絡ください。

スプレー塗布厳禁



紺商株式会社

〒940-0061 新潟県長岡市城内町3-7-8
C&Cグループ直通／Tel.(0258)32-4453
Tel.(0258)32-4411(代) Fax.(0258)32-4669
URL <http://www.konsho.co.jp>